

環境活動レポート



環境にやさしいモノづくりを目指す！

中通貴金属工業株式会社

環境活動期間： 2019年 7月 ~ 2020年 6月

発行日： 2020年 7月31日

リン銅ロウ、銀ロウ製品の製造(熔解、押出、伸線、圧延)
加工屑を使用した銀合金、銅合金製品の作成
金属接点用の貴金属の切削加工

1. 代表製品紹介



2. 代表工程紹介



3. ロケーション



住所 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根中ノ町6番地

JR東日本

東北新幹線 「水沢江刺駅」より車で20分
東北本線 「金ヶ崎駅」より車で5分

NEXCO東日本

東北自動車道 「水沢IC」より車で10分

はじめに

中通貴金属工業株式会社は全社員と共に地球環境保全並びに持続可能な社会の構築推進を目指しており、弊社の事業を通してこの具現化に向けては、エコアクション21環境経営システムの運用が最適の手法であると考えております。

エコアクション21環境経営システムの運用も7年目を迎え、会社の更なる体質強化を図る為に重点テーマと実効の大きなテーマに絞り込んだ活動を進め、これまで以上に持続可能な社会への参画・貢献を果たす為に邁進して参ります。

目次

目次	P 3
環境方針	P 4
会社概要	P 5
取組の実施体制・役割権限	P 6
環境目標	P 7
環境活動計画・実績まとめ表	P 8
テーマ別施策計画、実績報告記録	P 9
環境活動取組の結果総括	P 10
環境関連法規等、遵守状況	P 11
代表者による全体評価見直し	P 12
2020年度(49期)環境活動計画	P 13

◇環境活動期間:2019年7月 ~ 2020年6月

弊社の毎事業期間、7月~6月にEA21活動を連動して運用中。

環境経営方針

環境理念 中通貴金属工業株式会社は全従業員と共に環境に配慮した企業活動を通して持続可能な社会の構築への一翼を担い、更に一層、地域の信頼に応えるべく環境経営企業となるよう、日々努力を致します。

行動指針 弊社は、主力事業である貴金属材料等の溶解・押出・伸線・異型条加工等の全ての事業活動において、以下の環境活動に取り組みます。

1: 環境負荷低減活動では、以下の重点施策に取り組みます。

- ①電気使用量の削減
- ②二酸化炭素排出量の削減
- ③水使用量の削減
- ④グリーン購入、グリーン製品の提供
- ⑤化学物質、薬品の適正管理と使用量の削減

2: 環境負荷低減活動は、経営における課題とチャンスと踏まえ事業年度毎に具体的な施策を作成して進捗確認を行いまして継続的改善を図ります。

3: 事業活動に係わる環境関連法規等を遵守します。

4: 弊社の全従業員及び関係者に周知し、又 地元・周辺地域とのコミュニケーションを通じて地域社会との共生を図ります。

2019年 7月1日

中通貴金属工業株式会社

代表取締役

及川 米樹



会社概要

会社名： 中通貴金属工業株式会社

代表者： 取締役社長 及川榮樹

設立： 1972年10月19日

資本金： 3,000万円

住所： 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根中ノ町6番地

連絡先： TEL:(0197)44-3704
FAX:(0197)44-5273
E-mail:nkk@nakadouri.jp

事業内容： ・リン銅ロウ、銀ロウ製品の一貫生産(熔解、押出、伸線、圧延)
・非鉄金属材料の切削加工(異型条)

事業規模：

活動規模	単位	2017年度(46期)	2018年度(47期)	2019年度(48期)
		17年 7月～18年6月	18年 7月～19年6月	19年 7月～20年6月
売上高	百万円	1,323	1,216	1,123
(生産付加価値)		(202)	(189)	(165)
従業員	人	27	27	27
床面積	m ²	4760	4760	4760

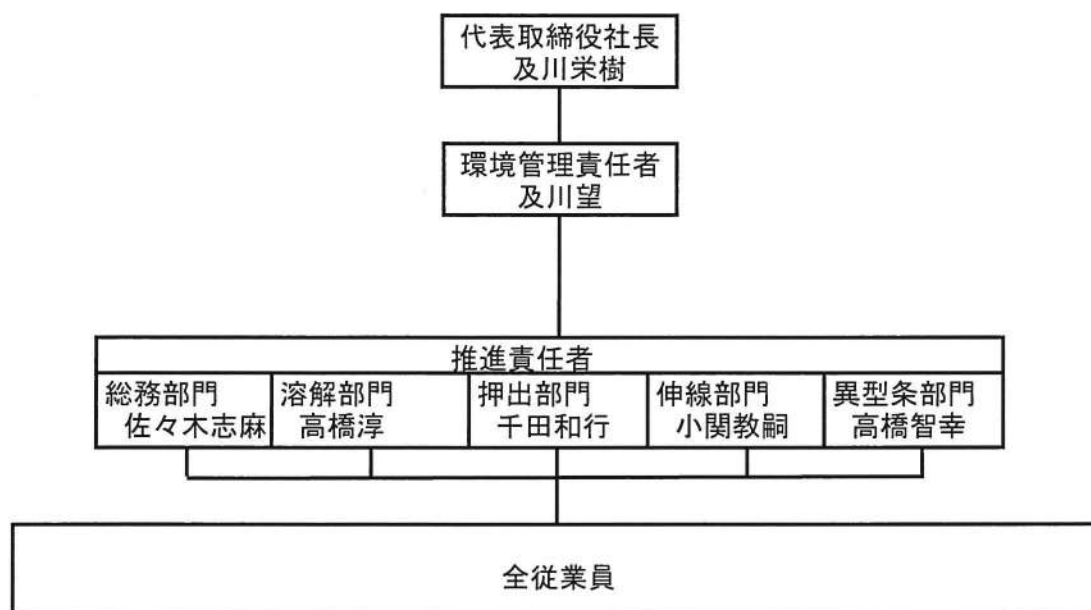
每事業年度： 7月～6月

環境管理責任者： 環境管理責任者 及川 望

特記： エコアクション21ガイドライン2017年版に準拠して運用
同活動を弊社事業年度に連動させ運用

対象範囲： 全社、全組織を対象として活動をします。

取組の実施体制・役割権限



役割 責任 権限 一覧

役割	責任及び権限
社長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針の制定・誓約する。 2. 環境方針の周知徹底を計る。 3. 環境管理責任者を任命する。 4. 環境経営資源を確保する。 5. 全体の取組状況の見直しに必要な情報を収集する。 6. 取組み状況の評価と見直し、必要な指示をする。
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表者に代わってのEA21の構築運用管理を行う。 2. 目的・目標一覧表及び環境目標計画表の確認。 3. 環境関連法規等の取りまとめの承認。 4. EA21の活動実施状況を代表者に報告する。
環境事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の事務的業務を担う。 2. 遵法教育の実施及び外部からの環境苦情等の受付を行う。 3. 適用法規の調査と遵法性チェックを行う。 4. 目的・目標一覧表及び環境目標計画表の作成。 5. 複数部門に関わる緊急事態の対応手順書の作成・訓練記録。 6. 緊急事態訓練の指導、対応、実施。 7. 活動全般の推進。
推進責任者 (部門長)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部門の目標計画の実施、活動状況の確認。 2. 自部門に関わる緊急事態の対応手順書の作成及び運用管理。 3. 部門に関連する問題点の摘出、是正・予防処置。 4. 運用管理に関する部下の指導。 5. 実施状況の記録
全従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針の理解。環境活動に取組の重要性・必要性を自覚する。 2. ルールを遵守し、自主的・積極的に環境活動に参加する。

[保管期間: 3年]
2019年7月1日作成
最新版管理

新中長期の環境目標

(1) 主な環境負荷実績

	2017年度(46期) 2017.7-2018.6	2018年度(47期) 2018.7-2019.6	2019年度(48期) 2019.7-2020.6
二酸化炭素排出量 CO ₂ kg	717,762	625,790	582,192
電力使用量 Mwh	1,095	1,116	1,043
灯油 KL	16.4	16.6	13.5
ガソリン KL	1.46	1.61	1.20
水 m ³	1,865	2,049	1,886

電力CO₂換算係数は、F-power排出係数 0.502CO₂kg/kwh

(2) 中長期計画

- ※1 基準年は46期(2017年7月～2018年6月まで)の12ヶ月間の実績で作成する。EA21の活動は事業期間に連動させます。
 ※2 総量管理は事業量で変動しますので体質絶対値(売上高の原単位)で運用する。
 尚、実行展開時には参考値として総量も記録管理する。
 ※3 売上高(毎月の売上高より総数管理を行う)
 ※4 46期 2017年7月～2018年6月の平均売上価値:16.8百万/月
 【目標管理の計算例】実績(kwh) 消費電力(kwh)÷(当月の売上高 金額÷100万円)
 達成率(%) 目標(kwh)÷実績(kwh)×100
 ※5 48期はコロナウイルスによる影響が大きく付加価値が減少しました。付加価値対比ではなく総量での自己評価を行います。
 ※6 二酸化炭素排出量は電力以外にも灯油、LPG、ガソリンの消費量を含んで算出した結果です。
 ※7 CO₂排出係数は「F-power 0.502」にて算定する。
 46期実績数値のCO₂排出係数を「0.591⇒0.502」に変更し、基準年度の数値とする。

No.	目標項目	環境目標(3年目) 基準年に対する目標	新中長期目標			
			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
			基準年(46期) 17年7月～18年6月	(47期) 18年7月～19年6月	(48期) 19年7月～20年6月	(49期) 20年7月～21年6月
1	二酸化炭素削減	717,762kg-CO ₂ を1%削減	3,546 kg-CO ₂	1%削減	2%削減	3%削減
				3,511 kg-CO ₂	703,407 kg-CO ₂	3,440 kg-CO ₂
2	電力使用量の削減	1.095 Mwh を1%削減	5,414 kwh	1%削減	2%削減	3%削減
				5,360 kwh	1,073Mwh	5,252 kwh
3	社内在庫Ag重量削減	社内在庫Ag重量を 1,100kgにする	1,200kg/月	100kg削減	150kg削減	200kg削減
				1,100kg/月	1,050kg/月	1,000kg/月
3	水使用量の消費	1,865 M ³ を 0.5%削減	1,865 M ³	0.5%削減	1%削減	1.5%削減
				9.25 M ³	1,828M ³	9.16 M ³
4	グリーン購入 グリーン製品の提供	グリーン購入90% グリーン製品の量産品製造 他品種の試作品製造	・グリーン購入90% ・グリーン製品の量産品製造	グリーン購入90% グリーン製品の量産品製造 他品種の試作品製造	グリーン購入90% グリーン製品の量産品製造 他品種試作品評価	グリーン購入90% グリーン製品の量産品製造 他品種の量産開始
5	化学物質、薬品の適正管理及び使用量削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質、薬品削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質、薬品削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質、薬品削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質、薬品削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質、薬品削減

※ CO₂排出係数は「F-Power 0.502」にて算定

[保管期間3年]
2018年7月27日作成
最新版管理

2019年度(48期)環境活動計画・実績まとめ表

※環境目標実績計画書は、基準年(46期)を参照に作成。
 ※2019年度(48期)の活動期間は2019年7月～2020年6月迄とする
 ※環境管理責任者はコメントを3ヶ月毎に記入する。
 ※是正報告書の発行は3ヶ月毎に「×が3つ」ついた時点で作成する。

※目標に対しての達成度
 目標に対しての達成度の計算式は「達成度=(目標値/実績)*100」で計算する。
 実績0のもの計算できないので「100%」と記入する。
 ※達成率は「過達 105%↑□」、「達成 95-104% ○」、「未達 94%↓×」

※目標値について
 今まで付加価値対比での評価を行ってききましたが、2019年度は
 コロナウィルスの影響により付加価値が減少しました。
 48期は付加価値対比ではなく総量にて評価を行います。

承認	作成
2019.7.31	2019.7.31
及川 望	青木 勇夫

No.	具体的施策L2		目標値	日程												累計	達成状況の確認/施策設定						
	項目	現状/目標		上期						下期							評価	施策	責任者				
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6								
目標	二酸化炭素(電力+燃料) 「kg-CO ₂ /加工費」 年平均	717,762kg-CO ₂ ↓ 703,407kg-CO ₂	2.0%削減	目標値	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	703,407	115.8%	115.8%	□	8月の売上が過去5年間で最低だったが、総量換算で見ると過達となった	冬季になり電気使用量が増加しているが2か月連続過達となった	3ヶ月連続過達となった	3ヶ月連続過達となった
			(目標/実績)(%)	達成度	116.7%	116.6%	103.2%	106.6%	105.3%	104.5%	131.4%	124.6%	114.6%	124.4%	121.1%	130.0%							
			判定	判定	□	□	□	□	□	○	□	□	□	□	□	□							
				3ヶ月毎評価 評価により施策を検討	評価 コメント																		
	電力使用量 「kwh/加工費」 年平均	1,095Mwh ↓ 1,073Mwh	2.0%削減	目標値	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	89.4	1,073	99.9%	99.9%	○	電気使用量は横ばいですが売上が減少しており、7月は未達成となりました	冬季になり電気使用量が増加しているが3ヶ月連続達成となった	冬季になり電気使用量が増加しているが2ヶ月連続で達成となった	売上減少が大きいが電力使用量は大幅減少により2ヶ月連続過達となった
			(目標/実績)(%)	達成度	89.6%	111.6%	96.1%	100.0%	98.6%	97.8%	101.1%	95.8%	88.2%	107.0%	117.0%	103.4%							
判定			判定	×	□	○	○	○	○	○	○	×	□	□	○	○							
			3ヶ月毎評価 評価により施策を検討	評価 コメント																			
社内在庫削減 「月末Ag在庫重量」 月平均	1,200kg ↓ 1,050kg	150kg 削減	目標値	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	98.9%	98.9%	○	夏季休暇対応で材料投入を行った結果、社内在庫が増加した	Ag材料投入を見直したことで社内在庫が減少しました	Ag材料投入を見直したことで社内在庫が減少しました	GW対応で材料投入を行った結果、社内在庫が増加した	
		(実績/目標)(%)	達成度	95.6%	72.8%	102.9%	90.8%	96.2%	97.2%	101.4%	97.8%	105.3%	91.3%	96.8%	98.9%								
		判定	判定	○	×	○	×	○	○	○	○	□	×	○	○								○
			3ヶ月毎評価 評価により施策を検討	評価 コメント																			
水使用量 「m ³ /加工費」 月平均	1,865m ³ ↓ 1,828m ³	1.0%削減	目標値	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	152.3	1,828	96.9%	96.9%	○	水使用量が2か月連続で未達成となった	冬季になり熱損失が減少したのが、2か月連続で過達となった	水使用量は3か月連続で達成となった	クーリングタワーの清掃など冬季使用設備の清掃など水使用量が増加した	
		(目標/実績)(%)	達成度	92.3%	78.9%	97.0%	82.3%	122.8%	115.4%	97.6%	113.7%	103.6%	91.8%	89.1%	97.6%								
		判定	判定	×	×	○	×	□	□	○	□	□	○	×	×								○
			3ヶ月毎評価 評価により施策を検討	評価 コメント																			
グリーン購入 グリーン製品の提供	グリーン購入 90% グリーン製品の量 製品製造 他品種の試作品製造	グリーン購入 90% グリーン製品の量 製品製造 他品種の試作品製造	目標値	グリーン製品購入90%						グリーン製品購入90%							上期						
			実績	○ ○ ○ ○ ○ ○						○ ○ ○ ○ ○ ○													
			評価 コメント	3ヶ月連続で達成!! 今後も継続活動する																			
化学物質、薬品の適正 管理及び使用量削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質薬品削減	化学物質、薬品の適正管理の徹底 化学物質薬品削減	目標値	適正管理徹底、削減						適正管理徹底、削減							上期						
			実績	○ ○ ○ ○ ○ ○						○ ○ ○ ○ ○ ○													
			評価 コメント	3ヶ月連続で達成!! 今後も継続活動する																			

※ CO₂排出係数は「F-power 0.502」にて算定

2019年度(48期)テーマ別施策計画、実績報告記録

※環境目標実績計画書は、基準年(46期)を参照し作成
 ※2019年度(48期)の活動期間は2019年7月～2020年6月迄とする

承認	作成
2019.7.31	2019.7.31
及川 望	青木勇夫

項目	対策実施内容	具体的施策	責任者	7 8 9 10 11 12 1 2 3 4 5 6													
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		
二酸化炭素削減	圧力調整弁によりガス使用量を絞り、ガス使用量を削減する	・圧力調整弁によりガス使用量を削減する	高橋淳	●	●	●											
	エアコン、照明器具の清掃を定期的に行う	・フィルター清掃 ・照明器具の清掃		●						●							
	エアコン温度設定の遵守、確認を行う	・冷房28度/暖房20度に設定、表示、遵守の確認		●						●							
	灯油ヒーター設置箇所の見直しを行う(位置/撤去)	石油ヒーターの配置換え/撤去						●	●								
	各建屋に責任者を設け、設備、照明、冷暖房器具の確認	・休憩時間や不稼働設備を責任者を決め管理する		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
	材料加熱設備に断熱材を設けて使用する	・断熱材を購入し、電気、ガス使用量を削減する									●	●				●	
電気量削減	ガスバーナーの火口を変更し、ガス使用量を削減する	・ガスバーナー火口交換を行いガス使用量削減		●	●												
	休憩、退社時に設備や事務機器の電源を切る	・建屋責任者を設け、確認を行う		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
	照明本数の見直し、照明を手元で消灯できるようにする	・照明の本数を見直す ・手元スイッチを設け、消灯する				●	●										
	冬季に水道凍結防止の為使用している電灯を消し凍結防止の処置をする	・凍結の可能性がある水道管にヒーターを設ける						●	●								
	材料加熱設備に断熱材を設けて使用する	・断熱材を購入し、電気、ガス使用量を削減する								●	●	●	●	●	●	●	
材料加熱設備の昇温時間を調査し、加熱時間の見直しを行う	・焼鈍炉、コンテナ加熱ヒーターの電力使用量の多い設備の加熱時間見直し			●	●	●											
加工屑削減	サンプル採取量を減らす	・分析サンプル作成 ・鑄型を小さいものにする	及川望			●	●										
	加工屑の材料回転を早くする	・熔解工程での配合計算 加工屑の再熔解を進んで行う		●	●	●											
	押出設備の変更により、歩留まりを向上させる	・押出設備を変更し、材料投入量や先後端除去による歩留低下要因を除去								●	●	●	●	●	●	●	●
	カット工程での中通社内基準と顧客基準を明確にし、加工屑として廃棄している材料を出荷する	・中通基準文書作成 営業へ提出し、変更						●	●								
	熔解工程で発生している鑄造欠陥を無くす	・鑄造欠陥のないピレットを作成し、歩留低下要因を除去する		●	●	●											
カット工程のガスバーナー、加熱炉の保温材追加によりカット工程での断線を防止する	・材料加熱炉を保温材により保温することで断線を防止する									●	●	●	●	●	●		
一般ごみ削減	燃えるゴミとして出していたペットボトルをリサイクルする	・ペットボトルを分別し業者へ回収依頼	及川望	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	汚れの少ないウエス、汚れの激しい軍手は油汚れふき取り用として再利用する。	・汚れの激しい軍手はウエスとして再利用する		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	ゴミを処分する処分料金の削減	・発生した可燃ごみ重量計測後、保管		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
	梱包資材の再利用(段ボール/クッション/PPバンド等)	・梱包資材で再利用可能なものは貨車にて管理する		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
	可燃ごみとして出していた紙を回収し、リサイクルする。	・工場内で発生した紙やダンボールをリサイクル業者へ持ち込む		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●
消耗品のまとめ購入	・消耗品でまとめ購入を行い包装ゴミの削減を行う	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●		
不燃ごみ削減	鉄屑、キレイなダンボールは小野徳商店へリサイクル	・分別を行い、段ボール、鉄屑は購入して頂く	及川努	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	不燃ごみの中に金属がある場合は金属を取り出し、鉄屑として小野徳商店へリサイクルする	・不燃ごみを廃棄する前に処置する		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	廃油、ガラス、プラスチックなどは保管場所を決め、処分する	・不燃ごみ置き場に品別別に収集し、保管、処分する。		●													
	その他(珪石、坩堝、電気資材)は光英金属へ回収依頼	・不燃ごみ置き場を作成定期的に回収する									●						
水使用量削減	節水の表示を行い、定期的確認する	・節水の表示を行い、定期的確認する	豊田恭之	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	
	水の使用量を記録し、工場別に使用量の削減を行う	・水使用の時間帯、使用工場を特定し工場毎に対策を行う		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	ピレット冷却を行わない様、作業計画作成する	・作業計画を作成する		●	●												
	凍結による水道管の破裂を防止する(水抜き徹底)	・作業終了後の水抜きを徹底/責任者決定							●	●	●						
クーリングタワー/不凍液の水使用量の調査、削減	水使用量の調査、漏れや交換頻度などを確認し、削減する						●	●									
グリーン購入	事務用品のグリーン購入徹底	・グリーン購入の徹底	佐々木志麻	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	テープ圧延材料の試作品作成 テープ圧延材料の量産	・BCuP-1・P6製品の量産 ・BCuP-5製品の量産		●	●												
化学薬品	薬品の数量管理、適正管理の徹底	・使用数の管理、使用中のものに「使用中」と表示を行う	及川望	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	薬品の削減検討	・薬品の使用量、濃度を減らし、使用量削減を検討する		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
	化学物質の適正管理の徹底	・材料の識別管理、集塵機管理の徹底		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	
その他	工場敷地内の清掃/草刈/雪掻き	工場敷地内のキレイにし気持ちよく作業を行う	及川努	●	●						●	●					
	不稼働設備の処分(計画を立てて、実施)	省スペース化			●												
	設備レイアウトの変更	省スペース化 作業効率UP								●	●						

2019年(48期)環境目標・活動計画取り組み結果と自己評価

承認	作成
2020.7.31	2020.7.31
及川 望	及川 望

取り組み活動期間 : 2019年7月～2020年6月(48期)

達成率の計算式: (目標/実績) × 100

※48期はコロナウイルスによる影響が大きく付加価値が減少しました。付加価値対比ではなく総量での自己評価を行います。

実績一覧

□ 過達(100%以上) ○ 達成(95～100%) × 未達成(95%以下)

管理項目	単位	取組対象	付加価値 100万円 当り	2017年度 基準年(46期)	2019年度 目標(48期) '19/7～'20/6	2019年度 実績(48期) '19/7～'20/6	差異 増減	達成率 %	効果(差異)理由 今後への課題
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂		↑	717,762 kg-CO ₂	703,407kg-CO ₂ 2.0%削減	607,480kg-CO ₂	-95,927 kg-CO ₂	115.8% □	理由: 電力使用量は増加傾向、ガス溶解炉の 使用回数が減少した為にLPGが削減された 課題: 冬季設備保温電力、灯油使用量増加
電気使用量 削減	Mwh		↑	1,095Mwh	1,073Mwh 2.0%削減	1,074Mwh	-1 Mwh	99.9% ○	理由: 契約電力や新電力変更による費用削減は 出来ているが、使用量は2.0%削減に留まった 課題: 冬季設備保温電力の増加
内在庫 Ag重量削減	kg			1,200kg/月	1,050kg/月 150kg削減	1,062kg/月	+12 kg/月	98.9% ○	理由: 昨年同月よりAg重量を削減する事が出来た 継続してAg削減活動を実施する 課題: 製造日数が長い製品の注文増加
水使用量 削減	M ³		↑	1,865M ³	1,828M ³ 2.0%削減	1,886M ³	+58 M ³	96.9% ○	理由: 生産量、付加価値が減少しているが 水使用量は増加している。水漏れ等あるのか 課題: 設備清掃などに使用する水使用量削減
グリーン購入		事務用品 等			グリーン購入90% グリーン製品仕 様検討 量産品製造	グリーン購入90% グリーン製品仕 様検討 量産品製造	継続	継続	今後も継続して実施。 今後は対象品目の更なる拡大を目指す 電気自動車用のEVモーターやISG製品など 二酸化炭素排出量削減製品を出荷し社会貢献
化学薬品 の管理		実質調査			化学薬品の 管理徹底 削減検討	化学薬品の 管理徹底 削減検討	継続	継続	表示/保管場所を決定し、今後も化学物質、 薬品の適正管理を行います。

取り組み結果と自己評価考察

今期はコロナウイルスの影響もあり、付加価値が減少しました。付加価値対比ではなく総量対比で評価、考察を行います。数値目標を掲げた4項目中4項目で目標を達成できました。

「二酸化炭素排出量」の達成率は過達でした。ガス溶解炉の使用が低下し高周波溶解炉にて作業を行っていますのでLPGの購入量が2017年対比で30%減少しました。

「電力使用量」についてはデマンド管理や新電力切り替えによる価格面での効果は出ていますが、売上減少と比例して使用量削減することが出来ませんでした。電力使用量は弊社エネルギーの90%を占めますので今後も重点的に活動していきま

「水使用量削減」については、河川の水を使用して設備清掃やクーリングタワー清掃を実施しました。一定の効果はありましたが、売上が減少している中で基準年度より使用量が増加しており対策が必要です。下水道料金控除に関しては使用量が昨年対比で2/3に減少し、年間で15万円程度の効果が有りました。

「グリーン購入」に関しては今後も継続して購入を行います。
「グリーン製品の提供」については現在行っている試作を量産化して電気自動車、マイルドハイブリッド用使用することで収益向上と二酸化炭素排出量の削減に努めます。

今期は数値目標を掲げた4項目すべてで目標達成をする事が出来ました。
来期も継続して活動し、発展的な施策を実施して全項目の目標達成を目指します。
今期目標達成できた項目に関しても、新たな施策テーマを設けて更なる向上を目指し活動を推進します。

環境関連法規等のとりまとめ一覧 兼 順守チェックリスト

取りまとめ表の更新: 毎年定期的な遵守評価を実施する際に制定、改正の進捗を行い変更があれば更新する。

最新情報の確認: 法令、条例等の確認

岩手県の条例等の確認

<https://elaws.e-gov.go.jp/>

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kankyou/hozen/index.html>

遵守チェック項目
遵守: ○ 問題継続中: ×
対象事項無し: —

承認	作成
2020.7.30	2020.7.30
及川 望	及川 望

法令等の名称	条 項	適用される要求事項	該当施設・項目	遵守の確認	遵守チェック
大気汚染防止法	第6条	煤煙発生施設の届(金属の精製又は鋳造の用に供する溶解炉・変圧器の定格容量が二〇〇KVA以上)	高周波溶解炉	容量75KVAにて対象外	-
水質汚濁防止法(H28.5.20)	第5条	特定施設設置届(65-酸アルカリ表面処理)	65-酸表面処理施設	S47届け出済確認	○
	第7条	特定施設の構造等の変更届	"	S53届け出済確認	○
	第3条	公害防止統括者の選任(従業員20人以上該当)	"	公害防止統括者選任済	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	第4条	水質公害防止管理者の選任 ・特定施設の設置工場 ・その他の施設で1000m ³ /日以上汚水排水施設	" 有害物質なく、排水10,000m ³ /日未満にて 第4種公害防止管理者	水質公害防止管理者選任済	○
	第6条	水質公害防止管理者代理者の選任	"	水質公害防止管理者選任予定	×
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	第16条	第1種特定製品 簡易点検(小型業務用冷凍機器1回/3ヶ月以上) 定期点検(7.5KW以上冷蔵・冷凍機器1回/年 7.5KW以上50KW未満空調機器1回/3年 50KW以上空調機器1回/年以上)	事務所エアコン2台	第1種特定製品簡易点検確認	○
騒音規制法	第6条	特定施設の設置届(空気圧縮機7.5KW以上、液圧プレス等)	空気圧縮機37KW 油圧プレス	指定地域外にて対象外	-
振動規制法	第6条	特定施設の設置届(空気圧縮機7.5KW以上、液圧プレス等)	"	"	-
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条第2項	産業廃棄物保管の基準(保管場所表示60*60等)	産業廃棄物保管	産業廃棄物保管なし	-
	第5項	産業廃棄物処理は、許可業者に委託する。	産業廃棄物処理委託	産業廃棄物発生なし	-
	第7項	委託した産業廃棄物処理状況を確認するよう努める。(排出者責任)	"	"	-
	第12条の3	廃棄物管理票の交付	"	"	-
	第7項	廃棄物管理票交付状況報告 6/30まで	"	"	-
	第8項	廃棄物管理票返送遅延時の届け出(D票90日、E票180日)	"	"	-
	第10項	廃棄物管理票の保存(5年間)	"	"	-
第12条の2 9項	特別管理産業廃棄物管理責任者の選任	特別管理産業廃棄物処理	特別管理産業廃棄物発生なし	-	
資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第4条	事業者の責務(原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品を利用するよう努めなければならない)	事業活動	エコアクション21活動による	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	事業者の責務(特定家庭用機器廃棄物を排出する場合は、再商品化等が確実に実施出来るように適切に引き渡す。) ・特定家庭用機器: TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコン	TV、洗濯機、冷蔵庫、AC	廃棄実績なし	-
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	事業者の責務(物品を購入は、できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする。)	事業活動	エコアクション21活動による	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	第4条	エネルギー使用者の努力(エネルギーの使用の合理化に努めるとともに、電気の需要の平準化に資する措置を講ずるよう努めなければならない)	"	エコアクション21活動による	○
労働安全衛生法	第88条	特定化学物質(カドミウム局所排気設備)計画届	銀ロウ製造		
毒物及び劇物取締法	第11条	毒物又は劇物の取扱(施設措置等)「硫酸、硝酸、水酸化ナトリウム」	酸アルカリ表面処理	保管庫旋錠確認確認	○
	第12条	毒物又は劇物の表示		表示確認確認	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び改善の促進に関する法律(PRTR法)	第5条	排出量等の把握及び届出 ・第1種指定化学物質1t/年以上(特定第1種0.5t/年以上)で従業員21人以上の事業者	カドミウム、銀	排出量届け出済	○
特定化学物質障害予防規則(H29.2.16)	第4条	第2類物質(カドミウム)の製造等に係る処置(局所排気設備)	銀ロウ製造	設置確認	○
	第9条	用後処理(除塵装置の設置)	"	バグフィルター設置	○
	第27条	特定化学物質作業主任者の選任	"	選任表示確認	○
	第36条	作業環境測定(1回/6ヶ月)	"	2019年6月、2019年12月実施	○
県条例	第22条	排出事業者等の責務等(収集運搬、中間処理業者の1年に1回以上確認し記録する)	産業廃棄物処理委託	産業廃棄物発生なし	-
	第22条の2	産業廃棄物管理責任者の設置	" 保管	" 保管なし	-
	第36条	騒音発生施設設置届(冷却塔0.75KW以上、空気圧縮機3.75kw以上等)	冷却塔送風機等	指定地域外にて対象外	-
	第56条	公共用水域の水質汚濁の防止	工場排水	水濁法による水質管理	○
	第68条	工場敷地内の土壌または地下水の汚染状態を測定、結果を記録しなければならない	観測用井戸設置、分析	年1回の分析/記録の保管	○
第90条	環境保全監督者の選任、届	冷却塔送風機等	指定地域外にて対象外	-	
市条例	第44条	火を使用する設備等の設置の届出 熱風路、乾燥設備、火花を生ずる設備等	焼鈍、ガス炉	届け出確認	○
	第46条	少量危険物の届け出、表示(指定数量1/5以上1未満) 指定可燃物の届け出、表示(可燃性固体等)	灯油、廃油等保管	少量危険物届出確認	○
	第14条	使用開始届	下水道	届け出確認	○

[保管期間3年]
最新版管理

代表者による全体の評価

実施日	承認	確認	作成
2020年7月30日	2020.7.30	2020.7.30	2020.7.30
	及川社長	及川 望	及川 望

見直しに必要な情報	指示事項	回答																																			
(管理責任者の報告)	(代表者)	(管理責任者)																																			
[目標・環境活動計画の達成状況]	[目標・環境活動計画の達成状況]	[目標・環境活動計画の達成状況]																																			
①環境目標達成率 ※合格判定※ ※48期は総量にて自己評価 過達○達成○未達×	①環境目標達成率	①環境目標達成率																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>達成率</th> <th>合格判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂排出量(kg-CO₂)</td> <td>703,407</td> <td>607,480</td> <td>115.8%</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>電力使用量(Mwh)</td> <td>1,095</td> <td>1,074</td> <td>99.9%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>在庫Ag重量削減(kg)</td> <td>1,050</td> <td>1,062</td> <td>98.9%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水使用量(m³)</td> <td>1,828.00</td> <td>1,886.00</td> <td>96.9%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>グリーン製品提供</td> <td>量産製造</td> <td>量産製造</td> <td>-</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>化学薬品の管理</td> <td>管理徹底</td> <td>管理徹底</td> <td>-</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table>	目標項目	目標	実績	達成率	合格判定	CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	703,407	607,480	115.8%	□	電力使用量(Mwh)	1,095	1,074	99.9%	○	在庫Ag重量削減(kg)	1,050	1,062	98.9%	○	水使用量(m ³)	1,828.00	1,886.00	96.9%	○	グリーン製品提供	量産製造	量産製造	-	□	化学薬品の管理	管理徹底	管理徹底	-	□	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標すべてで目標達成できている。 ・「電力使用量」に関しては重要なテーマです。新規目標作成により数値目標が厳しくなっていると考えますが、継続的に改善を行ってください。 ・水道料金に関しては使用量が増加しています。目標を過達成とする為に、施策展開を更に強力に実施して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今期は数値目標4項目すべてで目標達成ができました。 ・「電気使用量」については予熱時間の短縮、冬季使用設備の保温と終業前加熱炉停止を徹底して行います。 ・「水使用量削減」は今後も継続して施策を進めていきます。
目標項目	目標	実績	達成率	合格判定																																	
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	703,407	607,480	115.8%	□																																	
電力使用量(Mwh)	1,095	1,074	99.9%	○																																	
在庫Ag重量削減(kg)	1,050	1,062	98.9%	○																																	
水使用量(m ³)	1,828.00	1,886.00	96.9%	○																																	
グリーン製品提供	量産製造	量産製造	-	□																																	
化学薬品の管理	管理徹底	管理徹底	-	□																																	
※注1 上記数値は「環境活動計画書」参照																																					
②環境施策活動 実施率 ※達成○(85%↑)未達×	②環境施策<戦略テーマ> 実施率	②環境施策<戦略テーマ> 実施率																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施策テーマ</th> <th>施策数</th> <th>実施率</th> <th>合格判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO₂排出量削減</td> <td>7</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>電力使用量削減</td> <td>5</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>製品歩留まり向上</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>可燃ごみ排出量削減</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>不燃ごみ排出量削減</td> <td>4</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水使用量削減</td> <td>5</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他(設備廃棄、清掃)</td> <td>3</td> <td>100.0%</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	施策テーマ	施策数	実施率	合格判定	CO ₂ 排出量削減	7	100.0%	○	電力使用量削減	5	100.0%	○	製品歩留まり向上	6	100.0%	○	可燃ごみ排出量削減	6	100.0%	○	不燃ごみ排出量削減	4	100.0%	○	水使用量削減	5	100.0%	○	その他(設備廃棄、清掃)	3	100.0%	○	<ul style="list-style-type: none"> ・環境施策活動の実施率100%は7/7項目と目標を達成している。 ・48期は目標値を高く設定し、達成度だけではなく難しい問題に挑戦し、効果の大きい活動を実施してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・48期は環境施策活動実施率100%であり、すべての項目を達成することができました。工場全体でEA21に取り組む事が出来たと考えます。 ・49期は施策テーマの達成率だけではなく、施策効果を出せる活動を強化し、より難しい課題に挑戦して行きます。 			
施策テーマ	施策数	実施率	合格判定																																		
CO ₂ 排出量削減	7	100.0%	○																																		
電力使用量削減	5	100.0%	○																																		
製品歩留まり向上	6	100.0%	○																																		
可燃ごみ排出量削減	6	100.0%	○																																		
不燃ごみ排出量削減	4	100.0%	○																																		
水使用量削減	5	100.0%	○																																		
その他(設備廃棄、清掃)	3	100.0%	○																																		
[周囲の変化の状況]	[周囲の変化の状況]	[周囲の変化の状況]																																			
①外部コミュニケーション ・2020年6月28日現在、過去5年間において苦情は一切ありません	①外部コミュニケーション 今後も苦情等出ないよう継続して管理して下さい。	①外部コミュニケーション 今後も苦情等出ないようしっかり管理していきます																																			
②環境関連法規制等の動向他 ・2020年6月28日現在、弊社に関わる法規制等で昨年度より変更になったものはありません	②環境関連法規制等の動向他 ・環境関連法規の動向には常に気を配り、最新情報に基づいた管理をして下さい。	②環境関連法規制等の動向他 ・環境関連法規の情報をHP等から入手し最新版管理を行なっていきます。																																			
[その他]	[その他]	[その他]																																			
①環境方針 2017年版のガイドラインに従いまして今期より環境方針を一部変更しました。環境方針に基づき活動します。	①環境方針 ・環境方針に基づき活動してください	①環境方針 ・環境方針に基づき活動します。																																			
②作業設備の廃棄、移動(省スペース) ・48期保管設備を鉄くず回収スペースの確保を行いました。	②作業設備の廃棄、移動(省スペース) ・下屋保管設備の有価回収は効果的でした。今後も必要なものを必要な分だけ保有してください	②作業設備の廃棄、移動(省スペース) ・来期は空けたスペースに新規設備を導入するなど設備更新も実施していきたいと考えています。																																			
③カドミウムの管理 ・カドミウムの環境測定は合格していました。 作業には専用作業服、マスクを配布し、作業を行います。 ・特定施設の水質調査結果も合格していました。	③カドミウムの管理 ・法令順守事項は保健所のアドバイスを受けながら継続的に進めてください。 ・作業員の安全の為、継続して専用作業着、マスクを着用して作業を行ってください。	③カドミウムの管理 ・特定施設の再登録、水質調査合格となりました。 ・作業員の安全に関わりますので作業着、マスク着用は今後も管理し、遵守してもらいます。																																			
[総括]	[総括]	[総括]																																			
・48期は中長期目標も更新し、新しく改善目標を作成して活動を行ってきました。しかし、コロナウイルスの影響もあり付加価値が大幅減少しました。 数値目標を付加価値ベースではなく総量に変更して活動を行いました。 ・48期は数値目標を掲げた4項目すべてで目標を達成する事が出来ました。しかし製品出荷量が減っている中で『水使用量』が増加しているなど問題も顕在化しました。 ・弊社最重要課題である電力使用量は毎年新電力の相見積もりを行うなど費用削減、二酸化炭素の排出量の削減に努めます。 ・グリーン製品提供については現状納入している試作を量産化する事で利益の確保と二酸化炭素排出量の削減など社会に貢献します。	・48期は環境目標を新しく作成しての活動でしたが、数値目標を掲げた4項目すべてで目標を達成する事が出来ました。電力使用量は弊社の最重要課題です。料金面だけではなく使用量削減に向けて全社員一丸となって改善活動を進めてください。 ・48期に目標達成度が低かった水使用量削減については使用量削減は不十分ですが、下水道料金控除で年間20万円程度の効果金額が発生しました。難しいテーマと考えますが、来期は目標達成できるように施策を作成してください。 施策活動の目標達成だけではなく、難しい問題に挑戦して問題解決を図ってください。 ・試作をしっかり行いましてエコ製品の量産化を進めてください	・EA21活動も9年目に入り、施策内容展開により、環境活動が工場全体で円滑に進められました。 ・48期はコロナウイルスの影響もあり付加価値が大幅に減少しました。付加価値ベースではなく総量で評価を行った結果、数値目標を掲げた全項目で目標が達成できました。 ・目標達成率だけではなく効果金額、利益の確保につながる活動を進めます。 ・49期は実効の高い施策に重点志向で取り組むことで48期以上の成果を出せる活動とします。																																			

〔保管期間:3年〕
 最新版管理

2020年度(49期)環境活動計画・実績まとめ表

※環境目標実績計画書は、基準年(46期)を参照に作成。
 ※2019年度(49期)の活動期間は2020年7月～2021年6月迄とする
 ※環境管理責任者はコメントを3ヶ月毎に記入する。
 ※是正報告書の発行は3ヶ月毎に「×が3つ」ついた時点で作成する。

※目標に対しての達成度
 目標に対しての達成度の計算式は「達成度=(目標値/実績)*100」で計算する
 実績0のものは計算できないので「100%」と記入する。
 ※達成率は「過達 105%↑□」、「達成 95-104% ○」、「未達 94%↓×」

※目標値について
 今まで付加価値対比での評価を行っていましたが、2019年度は
 コロナウィルスの影響により付加価値が減少しました。
 48期は付加価値対比ではなく総量にて評価を行います。

承認	作成
2020.7.30	2020.7.30
及川 望	及川 望

No.	具体的施策L2		目標値	日程												累計	達成状況の確認/施策設定		
				上期						下期							評価	施策	責任者
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6				
目 標	二酸化炭素(電力+燃料) 「kg-CO ₂ /加工費」 年平均	717,762kg-CO ₂ ↓ 696,229kg-CO ₂	3.0%削減	目標値	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	58,617	703,407	上期		
			(目標/実績)(%)	達成度															
			105%↑□ 95-104% ○ 94%↓×	判定															
		3ヶ月毎評価	評価													下期			
		評価により施策を検討	コメント																
	電力使用量 「kwh/加工費」 年平均	1,095Mwh ↓ 1,062Mwh	2.0%削減	目標値	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	88.5	1,062	上期		
			(目標/実績)(%)	達成度															
			105%↑□ 95-104% ○ 94%↓×	判定															
		3ヶ月毎評価	評価													下期			
		評価により施策を検討	コメント																
	社内在庫削減 「月末Ag在庫重量」 月平均	1,200kg ↓ 1,000kg	200kg 削減	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	上期		
			(実績/目標)(%)	達成度															
			105%↑□ 95-105% ○ 95%↓×	判定															
		3ヶ月毎評価	評価													下期			
		評価により施策を検討	コメント																
	水使用量 「m ³ /加工費」 月平均	1,865m ³ ↓ 1,837m ³	1.0%削減	目標値	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	153.1	1,837	上期		
			(目標/実績)(%)	達成度															
			105%↑□ 95-104% ○ 94%↓×	判定															
		3ヶ月毎評価	評価													下期			
		評価により施策を検討	コメント																
グリーン購入 グリーン製品の提供	グリーン購入 90% グリーン製品の量産品 製造 他品種の試作品製造	グリーン購入 90% グリーン製品の量産品製造 他品種の試作品製造	目標値	グリーン製品購入90%			グリーン製品購入90%			グリーン製品購入90%			グリーン製品購入90%			上期			
		実績																	
		評価													下期				
		コメント																	
化学物質、薬品の適正 管理及び使用量削減	化学物質、薬品の適 正管理の徹底 化学物質薬品削減	化学物質、薬品の適正管理の徹 底 化学物質薬品削減	目標値	適正管理徹底、削減			適正管理徹底、削減			適正管理徹底、削減			適正管理徹底、削減			上期			
		実績																	
		評価													下期				
		コメント																	

※ CO₂排出係数は「F-Power 0.502」にて算定

〔保存期間:3年〕
 最新版管理